

令和5年第8回

幸手市教育審議会会議録

招 集 期 日	令和5年1月31日（火）午後1時30分					
開 会 場 所	幸手市役所本庁舎 3階 第1委員会室					
開会の日時・宣告者	令和5年1月31日（火）午後1時30分				森 祥一	
閉会の日時・宣告者	令和5年1月31日（火）午後3時06分				小林 学	
議 長	森 祥一（会長）			議長代理	小林 学（副会長）	
委員出席状況	議 席	氏 名	摘 要	議 席	氏 名	摘 要
	1	出井 保信	出席	1 1	細井 孝	出席
	2	稲垣 仁美	出席	1 2	松田 光男	出席
	3	井上 弘江	出席	1 3	松本 佑季子	出席
	4	大村 真樹	出席	1 4	眞中 千穂	出席
	5	小川 聖子	出席	1 5	三柴 幸一	出席
	6	小曾根 昌雄	欠席	1 6	宮田 充	出席
	7	木村 麻子	出席	1 7	森 祥一	出席
	8	木村 則之	出席	1 8	山下 治郎	出席
	9	小林 学	出席	1 9	山本 太輔	出席
	1 0	竹内 徳望	出席	2 0	渡邊 千穂	出席
議事参与者	職 名	氏 名	職 名	氏 名		
	教育部長	小林 秀樹				
	総務課長	服部 道春				
	学校教育課長	堀越 成夫				
書 記	大竹孝典・関口智章		傍 聴	0人		

会議事件名	顛末
<p>1 開 会 午後1時30分</p>	<p>森会長 開会を宣する。</p>
<p>2 前回会議録の承認</p>	<p>森会長 前回会議録の承認を求める。 《承認》 全員異議なく承認。</p>
<p>3 会議録署名委員の指名</p>	<p>森会長 議席番号16番の宮田委員と議席番号19番の山本委員に署名をお願いする。</p>
<p>4 議事 (1)望ましい学校の枠組み等 ・東地区の学校再編の枠組み</p>	<p>事務局 東地区の学校再編の枠組みについて、資料により説明する。 《質疑》</p> <p>森会長 ただ今、事務局から説明があったとおり、前回の会議で学校再編の枠組みとして、案①東地区の小学校3校と中学校1校を統合して小中一貫校、または義務教育学校とする、案②東地区の小学校3校を統合するとともに、認定こども園を併設して幼小一貫校とするとの2案が出たが、これについて、前回欠席された委員からご意見等あれば伺いたい。</p> <p>委員 この2案に賛成する。</p> <p>森会長 それでは東地区の学校再編の枠組みについては、この2案で審議を進めていきたいが、ここで私から提案がある。 案②は、小規模校である東中学校が、存続することになるが、東中学校の在り方について皆様の意見を伺いたい。</p>

委員

その前に私は、案③として、現在の学校を維持する案を加えることを提案する。

案①・②は、望ましい学校規模の目安は満たしているが、望ましい通学距離の目安を満たしていない。

東地区の小学校は、地域の情報ステーションや防災拠点として非常に大きな役割を担っていると思う。

また、新型コロナウイルスが5類に引き下げられるとはいえ、感染リスクの観点からも密が避けられることから、学校再編を行うことは時期尚早だと思う。

さらに、市長や教育長から学校再編の具体的な方向性が示されていないのに、望ましい学校規模や通学距離の目安に合わせて学校再編を検討するのはおかしいと思う。

委員

私も今の委員の意見に賛成する。

森会長

前回の会議でも申し上げたが、この会として統一した方向性を定めていかないと、この審議会の意義が無くなってしまう。

前回会議録で承認いただいたとおり、案①・②で審議を進めていくということで決定したのに、現状維持を加えることは、これまでの審議が無に帰すと思うのがいかがか。

委員

私は、案①・②を出す以前に、行政がもう少し人口を増やす政策に取り組むべきだということを以前から申し上げている。東地区に学校が無くなってしまったら、地域コミュニティの場や防災拠点も失われてしまうし、子どもたちも更になくなってしまうと思う。

森会長

委員がおっしゃることも確かに大事なことだが、それは学校再編の方向性が出た後でも検討できるかと思う。アンケートの結果でも学校再編を望む声が多い以上、その意見も尊重しながら審議を進めていくべきだと思う。

委員

市長や教育長から学校再編の具体的な方向性が示されていないのに、例えばこの審議会で東中学校に小中一貫校を設置すると言っても、予算の問題もあるのに実現できるのか。

森会長

具体的な方針が示されているのであれば、この審議会を立ち上げる必要は無い。この審議会の意義は、ここで審議して出した方針を市に届けることかと思う。

委員

それなら現状維持という意見を届けてもよいのではないか。

委員

案①・②のいずれにしても、若干の改善はあるものの、少人数であることに変わりはないと思う。だから、さらに一歩踏み込んだ議論が必要かと思う。

なお、市長や教育長がどう考えているかということをつ度する必要はなく、この審議会として独自の提案をすればよいかと思う。

委員

厚生労働省から公表された「人口動態統計速報（令和4年10月分）」によると、出生数が過去最少のペースで、この傾向が続くと令和4年の年間出生数が80万人を割り込む見通しだとの報道があった。

この出生数を都道府県や市町村、学校数で割っていくと1校当たりの入学予定者数が見えてくると思うので、その辺も踏まえながら学校再編を検討していく必要があると思う。

なお、多くの自治体で伝統文化の存続が危ぶまれてきている実態もあるので、伝統文化の継承を生かした学校再編の取組も考えられるのではないか。現状維持ということではなく、先を見据えた議論を進めてはどうか。

委員

社会情勢や地域の実情、各々の考え方を踏まえて議論が深まっていくことは非常に大事だが、やはりこの審議会では、子どもたちが切磋琢磨しながら互いに成長するにはどうあるべきか、ということを大前提に議論を進めていくことが大事だと思う。

各々の地域の文化やコミュニティは存じ上げないので客観的な視点から申し上げるが、子どもたちの体力や安全性を考慮するなら東中学校を拠点として再編を検討した方が、災害時においても安全性が保たれるのではないかと思う。

<p>・ 東中学校の在り方について</p>	<p>その形態を小中一貫校とするのか、義務教育学校とするのかは、審議会から方針を示した後に教育委員会などで検討していただくことになるかと思う。</p> <p>委員</p> <p>子どもたちのことを第一に考えて議論することは大事だが、もう少し地域の状況を把握してから議論を進めてもよいのではないかと思う。いきなり案①・②が出てきて議論を進めることに納得がいかない。</p> <p>委員</p> <p>改めて東地区の小・中学校に通う児童・生徒や保護者の意見を確認したい。そこで小規模校ではなく、もっと大きな学校を希望する声が多ければその意見を尊重したい。</p> <p>なお、現状維持をしながら行政は、子どもたちを増やす努力をしてほしいという意見があることを答申に付け加える必要があると思う。</p> <p>委員</p> <p>市民を増やす努力を継続することは大事だが、人口減少は現実に進んでいるので、学校再編によるスリム化はやむを得ないと思う。ここでブレーキをかけてしまうとこれまでの議論の意味が無くなってしまうので、スピード感をもって早めに結論を出した方がよいと思う。</p> <p>森会長</p> <p>様々な意見はあるかと思うが、まずは学校再編の枠組みを決定して、意見については答申に付帯するという形でよろしいか。</p> <p>《承認》 全員異議なく承認。</p> <p>森会長</p> <p>それでは改めて、東中学校の在り方について皆様の意見を伺いたい。</p> <p>また、認定こども園併設の話があったが、子どもの人数が減少傾向にある中、需要はあるのかという課題もあるかと思うので、改めて意見を伺いたい。</p> <p>《質疑》</p> <p>委員</p> <p>案①であれば、通学距離が一番安定しているので良いかと思う。東中学校を存続させないのであれば、跡地利用の問題が出てくるかと思う。</p>
-----------------------	--

<p>・西地区の学校再編の枠組み</p>	<p>委員</p>
	<p>私の子どもが成長して東中学校へ通うときのことを考えると、部活動がもう少し充実している方が子どもにとって幸せではないかと思う。</p>
	<p>案①が望ましいと思うが、例えば5年後の再編に向けて進めていった結果、その時、子どもの人数が減っていて実現できないということにならないよう、慎重に考えなければならないと思う。</p>
	<p>委員</p>
	<p>市全体の地図を眺めた場合、やはり中学校2校が西側に偏っているのはバランスが悪いと思うので、東中学校の存在価値は大きいと思う。</p>
	<p>委員</p>
	<p>私も案①で進めるのが良いかと思う。</p>
	<p>それから、先ほど委員から要望があった、東地区の小・中学校に通う児童・生徒や保護者の意見を抽出した資料を事務局から示していただけるのか。地域の意見を勘案する必要があるので、可能であればお願いしたい。</p>
	<p>総務課長</p>
	<p>可能である。次回までにご用意したい。</p>
<p>森会長</p>	
<p>それでは次回、抽出した資料をもとに再考することになるが、これまでの意見をまとめると、東中学校を存続させる案①に絞って検討していくという方向でよろしいか。</p>	
<p>また、認定こども園については、まずは東地区の小学校3校と中学校1校を統合して、小中一貫校または義務教育学校の開校を基本とし、認定こども園の併設は望ましいとしているので、付帯意見とすることよろしいか。</p>	
<p>《承認》 全員異議なく承認。</p>	
<p>森会長</p>	
<p>つづいて、西地区の学校再編の枠組みについて、審議したい。事務局からの説明をお願いする。</p>	
<p>事務局</p>	
<p>資料に基づき、西地区の学校再編の枠組みの例について説明する。</p>	
<p>《質疑》</p>	

森会長

学区調整区域から通学している子どもは何人くらいいるのか。

事務局

手元に資料が無いためお答えできない。

委員

さかえ小学校の学区は、地図を見ても分かるとおり、幸手団地街区が大半を占めている。幸手団地の子ども数は減少しており、また、コモンシティ幸手の子どもたちも中高生になっているため、小学生の人数はかなり減少している。

学区調整区域の保護者の方にお話しを伺うと、上高野小学校の方が、児童数が多いことから、さかえ小学校ではなく上高野小学校を選択する方が多い印象だった。

最近、幸手団地第6街区を戸建て住宅にするような動きもあるようだが、現状では子どもの数が減少傾向にある印象である。

森会長

考えられる案としては、さかえ小学校を上高野小学校と再編する、または、東中学校区で再編した学校にさかえ小学校を含める、といった案が考えられると思う。

委員

中学校区が変わることを心配されている保護者の方が多い。保護者の方々のご意見を踏まえた意見を申し上げると、やはりさかえ小学校は、上高野小学校と統合するのが現実的だと思う。

ただ、中学校に進学する際、さかえ小学校は幸手中学校に進級していたが、上高野小学校では西中学校へ進級することになるので、西中学校の生徒数増加の可能性や、兄弟姉妹がいる家庭で進学先が異なってしまう問題が出てくると思う。

森会長

保護者や子どもの思いを考えると難しい部分もある。先の話だが、さかえ小学校と上高野小学校が統合するときに、例えば4年生以上は、進学先を幸手中学校と西中学校を選択できるようにするという事は可能かと思う。

これまでの会議を含めたご意見等をまとめると、西地区の学校再編の枠組みについては、さかえ小学校と上高

<p>・ 幼児教育の在り方 について</p>	<p>野小学校を統合する。なお、付帯意見として、中学校への進学については、弾力的な扱いとする。</p> <p>また、以前もご意見をいただいたとおり、国道4号線や踏切の横断の際の通学の安全面への配慮については、行政に努力していただく必要があるということを付け加える形で決定してよろしいか。</p> <p>《承認》 全員異議なく承認。</p> <p>委員</p> <p>今後の動向について確認したい。</p> <p>本日の会議までに決定した事項を事務局でまとめていただけるということによろしいか。</p> <p>また、具体的な統合先や、地域説明会などについては、もっと先の話ということによろしいか。</p> <p>事務局</p> <p>これまでに決定いただいた事項やご意見等を事務局でまとめて、次回までに基本方針素案の案という形でお示ししたい。その後、案についてこの会でご審議いただき、ご意見等を反映したものを教育委員会定例会等でご審議いただく。そこで議決をいただいた基本方針を市長に報告する流れとなる。</p> <p>基本方針を踏まえて市長部局で方針を決定し、その後、地域説明会などを実施していく流れになると考えている。</p> <p>事務局</p> <p>東地区の学校再編の枠組み案の付帯意見として、「なお、この枠組みに、認定こども園を併設し、幼小中の連携を図れる施設とすることも望ましい。」という一文があるが、市としての公的な幼児教育の方向性について、ご意見をいただきたい。</p> <p>資料を配布し、市立・私立幼稚園の園児数の推移を説明する。</p> <p>《質疑》</p> <p>委員</p> <p>幸手市に認定こども園はあるか。</p> <p>事務局</p> <p>ない。</p>
----------------------------	---



	<p>委員</p> <p>必要性については今後、議論していくことだと思うが、他の委員からもご意見があったように、魅力のある学校ということでは、認定こども園の併設も検討する余地があるのではないかと思う。</p> <p>委員</p> <p>令和3年度を以って廃止となった幸手市立吉田幼稚園は、私立幼稚園では受け入れが難しい子どもを受け入れていた実態があり、廃止後は、近隣の養育園等に通園している子どもが多い。そういった子どもたちも受け入れられる施設であれば、認定こども園、療育園のどちらでもよいが、そういった施設が私立・公立問わず担保されれば、子育て日本一を目指す幸手市にとって一つの魅力になるのではないか。</p> <p>委員</p> <p>新しいことに挑戦して子どもたちを育てていくには、幼稚園と小・中学校の連携も大事だと思う。なお、園の設置は公立にこだわる必要はなく、民間の力を借りて設置するやり方もあると思う。</p> <p>森会長</p> <p>それでは、付帯意見については、このままということではよろしいか。</p> <p>《承認》 全員異議なく承認。</p>
<p>5 その他</p> <p>(1) 次回審議会日程</p>	<p>総務課長</p> <p>次回の審議会の日程について説明する。</p> <p>日時 令和5年2月28日(火) 午後1時30分</p> <p>場所 市役所本庁舎 3階 第1委員会室</p>
<p>6 閉 会</p> <p>午後3時06分</p>	<p>小林副会長</p> <p>閉会を宣す。</p>

<p>他特に重要 と認める事項</p>	<p>なし</p>
	<p>上記会議の顛末を記載し相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p style="text-align: right;">令和 5年 2月28日</p> <p>署名</p> <p style="margin-left: 200px;">       審議会会長            森        祥 一        審議会委員            松 本 佑季子        審議会委員            渡 邊 千 穂        事務局職員            大 竹 孝 典     </p>